



むさしだい

学校だより 2月号
平成29年1月31日
中野区立武蔵台小学校
校長 戸崎 晃

平成28年度目指す学校像 児童に 保護者に 地域に 教職員に
「喜びを生み出す学校」

—学校教育に関する保護者アンケート集計結果の分析— 副校長 橋本 誠之

武蔵台小学校では、児童の願いとともに、保護者、地域の方々、教職員の思いを実現する学校でありたいという願いのもと目指す学校像を定めています。

「喜びを生み出す学校」を目指し、昨年度の反省をふまえ、新たな教育活動に真摯に取り組んでまいりました。

保護者の皆様には「平成28年度学校教育に関するアンケート」を実施しました。ご協力いただきありがとうございます。

今年度は従来の教育活動を整備し、月ごとに強化・推進する取組を焦点化することで、より意図的・計画的に教育活動に取り組んでまいりました。

その結果、子供たちが学習や行事等に進んで取り組んでいる様子や人とのかかわりを大切にする姿が多くみられました。

今年度のアンケート回収率は昨年度より2.7ポイント上回る88%に達しました。また、アンケート結果を見ますと25項目中21項目で「十分」「まあ十分」を合計した肯定的な評価の割合が85%以上でした。

この結果は本年度の取組に高い評価をいただけていると受け止めております。

今後も教職員の力を結集した学校の組織としての力を高め、児童一人一人のよりよい成長を促す教育の実現のため、全力で取り組んでまいりますので、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

——アンケート集計結果の分析——

アンケート集計結果では、人とのかかわりにおける項目全てで高評価でした。具体的な方策と先生方の熱心な指導、組織的な取組でこのような結果をいただけたと思

ます。今後も人とのかかわりを大事に教育活動の充実を図っていきます。

【豊かな人間性の醸成】

項目5「自他の生命を大切にすることの育成」では昨年度より4.8%高まり、90%でした。また、項目15「学校は、ふれあい月間などを通じていじめ未然防止に取り組む、組織的に対応している。」も昨年度より5.5%高まり84.8%でした。

今年度は6月から代表委員の児童が中心となり年間を通して毎朝あいさつ運動を続けています。また、いじめ防止活動としてクラスごとに作成した「いじめ防止標語」「いじめ防止シンボルマーク」を校内に掲示したり、毎月のいじめに関するアンケートを実施したりと、児童への啓発と個別対応の充実が未然防止・早期発見・早期対応につながりました。項目4「思いやりや優しい心の育成」でも評価をいただきました。

たてわり班活動や異学年交流を通して、児童一人一人の心に相手を思いやる優しい心が養われていることを実感しております。今後も児童一人一人が自分の大切さとともに、他の人の大切を認められることを大事できる豊かな人間性を育ていけるよう人とのかかわりを大事する活動の推進を行ってまいります。

【学力の向上】

項目2「一人一人の児童のよさや可能性を伸ばす教育の実践」や項目12「児童に学習内容の基礎・基本を身に付けさせている」、また項目13「家庭学習を推進し、

学習習慣を身に付けさせる取組」のいずれの項目も昨年度と同様の評価となりました。今年度から朝学習で東京都が推奨しているベーシックドリルに取り組み、算数における6年間を見通した基礎・基本の定着を図っております。

今後とも児童理解に努め、家庭学習の充実や補充の時間を工夫し、基礎・基本の学力の定着を目指します。

【体力・健康の保持増進】

項目18「体力向上月間や外遊びの奨励など体力向上の取組」では91.5%と昨年度同様高評価でした。

今年度は投げる能力を高めるために、中休みに練習できる場を体育館に設定しました。児童は休み時間ごとに集まり、楽しみながら練習に励み、努力した分だけ、投げられる距離を伸ばしました。

特筆すべきは、運動会での各学年の団体演技や組体操の完成度の高さ、また、連合運動会での学校対抗綱引き大会の好成績、そして、体力月間で取り組んだ長縄跳びの3分間跳びでの飛躍的な回数増。クラスや学年、学校が目標に向かって、心一つに体を動かしている姿が印象的でした。

また、給食指導では、バランスよく食べることの大切さを伝える指導と地道な言葉かけで残菜率が、年度当初より8%以上減少しました。

【保護者・地域との連携・協働】

項目6「学校は保護者や地域の方の意見や要望を受け止め、学校改善に生かそうとしている」や項目7「学校公開の機会や学校だより、ホームページなどで学校の様子を地域や保護者に知らせるなど、開かれた学校づくりに努めている」でも90%以上の評価を受けました。

今年度も各種アンケートへの回答や学校行事へのお手伝い等のご協力をいただき、ありがとうございました。

今年度は運動会で参観カードを発行し受付の煩わしきの解消や南校舎の西階段の段

差を解消するなど学校施設の改善等も進めてまいりました。

今後とも多くの声に耳を傾け、保護者・地域の皆様との連携・協働を軸に取り組みでまいります。

【小中連携教育の推進】

項目24「小中連携教育のねらいや様子を、保護者に分かりやすく伝えている。」では、2年連続で数値上昇がみられ、76.7%の評価をいただきました。平成27・28年度の2年間にわたり北中野中学校、上鷺宮小学校、武蔵台小学校の3校による小中連携教育の推進を図ってまいりました。

北中野中学校区の公立学校に通う児童・生徒がよりよい学校生活を送るためには、小学校から中学校への円滑な接続が欠かせないととらえ、学習面・生活面での情報や指導の共有化を図りました。

来年度はこの2年間の取組を生かし、児童生徒の交流、教師間での交流を通して、小中連携をさらに充実してまいります。また、乗り入れ指導やオープンキャンパスの様子はホームページ等で保護者の皆様にお伝えできるよう工夫していきます。

【今後の課題】

項目9「学校は、特別支援教育や発達障害等に関して保護者への説明をおこなっている」についてですが、今年度も特別支援学校の先生をお招きしての特別支援教育研修を2回開催（PTA主催，学校主催）し、どちらも好評でした。

来年度は多くの保護者の方々に参加していただけるようお声かけさせていただくとともに、保護者や地域の方々に様々な角度から特別支援教育について伝えていけるよう工夫してまいります。

武蔵台小学校の児童、保護者、教職員、そして、地域の方々から、笑顔があふれるような喜びを生み出す学校を目指し、来年度も取り組んでまいりますので、よろしく願いいたします。